

令和2年度 第2回 東京都教員育成協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和2年10月16日(金曜日)午後3時から午後5時まで
- 2 会 場 都庁第一本庁舎42階特別会議室B
- 3 出席者 宇田委員(会長)、増田委員(副会長)、佐々木委員、卜部委員、吉川委員、後藤委員、千葉委員、加藤委員、若菜委員、野村委員、和田委員、浅野委員、石田委員

4 議事内容

(1) 東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標について

- ・ 指標の策定にあたっては、教員養成大学の意見も参考にいただき感謝している。本指標は大学でも活用できる。
- ・ 本指標は、養護教諭と栄養教諭が、職層に応じた資質を身に付けながら、いずれは学校経営を担う教育管理職になるまでの道筋が分かりやすく示されている。
- ・ 養護教諭と栄養教諭は、他の教諭等とは違った立場で児童・生徒を指導しているため、養護教諭版と栄養教諭版の指標を独立した形で示したのはよい。この年次計画があれば、教員の人材育成に役立つだろう。
- ・ 養護教諭や栄養教諭と面接を行う際に、これまでは教諭版の指標を、それぞれの職に当てはめて活用していた。今後は、養護教諭版と栄養教諭版の指標を活用し、計画的な人材育成に役立てたい。
- ・ 養護教諭版と栄養教諭版の指標については、今後、教員研修にも反映させ、研修者自身が資質の向上を意識できるような研修構築をしていく。

(2) 「東京都教職課程学生ハンドブック」及び「東京都教員研修計画」の次年度版について

- ・ 「東京都教職課程学生ハンドブック」は、学校の様子を凝縮して分かりやすくまとめられている。大学の授業では、本冊子を活用している。
- ・ 教員を目指す気持ちが強い学生に話を聞くと、小学校でボランティアをしている学生が多かった。子供達と接する楽しさや、教員の後ろ姿が、よい影響を与えている。
- ・ 「東京都教職課程学生ハンドブック」では、SNSについても触れてほしい。学生はSNS 東京ルールを理解してから、教育実習に臨んでほしい。
- ・ 教員のマイナス面のイメージがクローズアップされているが、教育実習生には、職員室の明るく楽しく助け合う雰囲気を味わってもらいたいと考えている。
- ・ 教員研修についてだが、受講者のアンケートを見ると、「オンラインもよいが、やはり対面がよい」という意見もあった。必要に応じてオンライン研修やオンデマンド研修を実施したが、引き続き、研修形態を工夫して実施していきたい。
- ・ 教職員研修センターで研修を受けた新規採用教員が、オンライン研修だけではなく、通所して研修を受けられるようになって良かったと言っていた。同じ課題意識をもつ仲間との時間も大事である。
- ・ ICT 機器など、今日のことが明日また変わることも多くあり、スキルのある先生が教えていくことが大事である。「学び続ける」ことが大事である。
- ・ off-JT、OJT、自己啓発の三点を効果的に組み合わせながら、人材育成を進めていきたい。